

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

かわ

## 川から、

おうじ

## すくわれた王子



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: M. Maillot; Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: M. Maillot; Sarah S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
きよか  
許可されています。



だいじん  
そうり大臣ヨセフが、  
な  
とうとう亡くなっていました。  
ひとびと  
エジプトの人々は、ヨセフのかぞく  
おな かな き も  
と同じように悲しい気持ち  
ちでいっぱいです。



かみ た の  
神さまは、食べるものも、飲むものもなくて  
こま くに ひとひと すく  
困っていたヘブライの国の人々を救うため、  
もち  
ヨセフを用いられたのですね。  
ヨセフは、かしこくて、  
だいす  
みんなの大好きなリーダーでした。

そのリーダーも、  
もういなくなって  
しまったのです。



ねん      なが      としつき  
それから、300年もの長い年月が、すぎていきました。

くに      ひとびと      じん      つづ  
ヨセフの国の人々へブライ人は、エジプトでどんどんふえ続け、  
つよ      みる  
強い民ぞくになっていきました。



あたら

おう

ひと

じぶん

このころ、**新**しく**王**さまになったファラオは、ヘブライの人たちが**自分**たちより  
強くなり、**言**うことをきかなくなってしまうのではないかと**思**い、おそろしくな  
りました。そこで、ファラオは、ヘブライ人**を**みんなどれいにしてしまった  
のです。



ファラオは、ヘブライ人をひどく苦しめました。かれは、ヘブライ人に大きな町  
をたてるようにめいれいし、毎日毎日、死ぬほどはたらかせました。けれども、  
どんなにはたらかされても、どれいとなったヘブライ人は、ますますふえつづけ  
ていくのです。



ある日のこと、ファラオは、<sup>ほんとう</sup>本当におそろしいことを、めいれいしましたよ。それはね、「<sup>う</sup>生まれたばかりの<sup>おとこ</sup>男のあかちゃんは、みんなナイル川になげすててしまおううんだ！」ということでした。このひどい<sup>おう</sup>王さまファラオは、こうやってヘブライ人の<sup>じん かず</sup>数を、へらしてしまおうと、きめたのでした。でも、なんてひどいことでしょう。あかちゃんを <sup>ころす</sup>ころすなんて！





「いったい、どうしたらいいのだろう。」男おとこの子こがう生まれたばかりのかぞくは、  
ほんとうにどうしようと、いろいろ考かんがえたことでしょう。そして、とうとうか  
れらは、あかちゃんをナイル川がわへつれていくことに、きめたのです。でもね、あ  
かちゃんを、なげすてに行いったんじゃないんですよ。あかちゃんは、水みずが入って  
こちいない小なかさなかごの中いに入れられたのです。



ちい

たいせつ

小さなかごのボートは、その大切なあかちゃんをはこびながら、ゆらゆらとアシ  
のしげみの中なかにうかんでいますよ。でも、その小さなあかちゃんに、いったい何なに  
がおこるのでしょうか。



ほう

とおくの方から、あかちゃんのおねえさんが、そのだいじなあかちゃんのかご

み

なか

を、じっと見つめていました。かごは、アシのしげみの中で、うかんだりしずみ  
そうになったりして、ゆらゆら、ゆらゆら・・・。



とつぜん、ファラオのむすめと召しつかいが、水あびをしようと、川の方へ、  
やってきました。

あれっ、かの女たちの方から、あかちゃんのかごがよく  
見えていますよ。でも、ひょっとしたら、そのかごに気が  
つかないで、行きすぎるかもしれませんね。



「ほら、<sup>み</sup>見て！あそこにかごがあるわ。ほら、あのアシのしげみの中なかに！  
いったい、<sup>はい</sup>なにが入っているんだろう。」

ファラオのむすめは、<sup>め</sup>召しつかいにそのかごを、  
とってくるように<sup>い</sup>言いました。そして、

そのかごを<sup>あ</sup>開けてみると、まあびっくり！

<sup>なか</sup>中にあかちゃんがいるではありませんか。

あかちゃんが、<sup>な</sup>泣きだしました。

「きっと、<sup>じん</sup>ヘブライ人のあかち

<sup>おうじょ</sup>ゃんだわ。」王女は、  
さげびました。



「おお、かわいそうに。でもなんてかわいいんだろう。」たぶん、  
ファラオのむすめは、お父<sup>とう</sup>さんやお母<sup>かあ</sup>さんが子供<sup>こども</sup>に話<sup>はな</sup>すように、  
そのあかちゃんにやさしく話<sup>はな</sup>しかけたのでしょ



かの<sup>じょ</sup>女は、「Ootchie-kootchie  
Koo-ums」と言<sup>い</sup>ったのかもしれませんが。もちろん、  
エジプトのことばで言<sup>い</sup>われたのですけれどね。



かみ

ち え あた

神さまは、きっとあかちゃんのおねえさんに、とくべつな知恵を与えられたにち  
がいません。とおくからじっとようすを<sup>み</sup>見ていたおねえさんは、ファラオの

ところへ、<sup>おお</sup>大いそぎで、<sup>おうじょ</sup>やってきました。「<sup>おうじょ</sup>王女さま、わたしがあかちゃんを

<sup>せ わ</sup>世話するへ<sup>じん おんな ひと</sup>ブライ人の女の人を、さがしてきましょうか。」

「<sup>おうじょ</sup>そうしておくれ。」<sup>おうじょ</sup>王女は、こたえました。

<sup>おんな こ</sup>でも、その女の子は、  
いったいだれを、  
つれてくるつもりなの  
でしょうね。





「おかあさん、はやく来て！<sup>き</sup>急いで、<sup>いそ</sup>急いで、こっちよ。」<sup>おんな</sup>たぶん<sup>こ</sup>女の子は、  
おかあさんにせつめいしているひまなどなかったでしょう。<sup>ふたり</sup>二人は、いっしょに  
<sup>こみち</sup>せまい<sup>お</sup>小道を、かけ下り  
ていきました。



かわ

だ

川のところまでもどってみると、ファラオのむすめが、あかちゃんをさし出して  
い  
言いました。「さあ、あかちゃんに乳をのましてください。その手当ては、わた

しが出しましょう。この子は、モーセとよびましょう。

モーセというのは、エジプト

のことばで、たぶん「水か  
みず  
らのむすこ」という

い み  
意味です。



それでね、モーセは、お父さんやお母さんの家へもどる  
ことが、できたのです。そこで、モーセは、神さまを愛  
すること、そしてヘブライの人々を愛することを、教え  
られました。しばらくして、モーセは、またファラオの

むすめのいる宮でんに住  
むようになりました。

モーセのいのちを助けて

くださった神さまは、  
あかちゃんモーセの未来に、

すばらしい計画を

考えていらっ  
しゃいました。



かわ おうじ  
川から、すくわれた王子

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しゅつ き しょう  
出エジプト記 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送って下さいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んで下さいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
て下さいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

